

銀嶺の果て (1947)

メディア 映画
ジャンル サスペンス アクション アドベンチャー
製作国 日本
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1947/08/05

【解説】
黒澤明との共同脚本をもとに、谷口千吉が初めてメガホンをとったデビュー作。見事な脚本とダイナミックなロケーションが評価された。音楽に伊福部昭、出演に志村喬と三船敏郎と、豪華なメンバーが顔をそろえている。
野尻と江島と高杉が北アルプスにやって来る。三人は銀行強盗をして逃げ込んできたのだ。いったん温泉に逃れた三人だったが、スキー客に気づかれたためさらに山奥へ。しかし自分たちを追ってくる犬に向けて発砲したため、高杉は雪崩に飲み込まれてしまう。野尻と江島は小さな山小屋にたどり着いた。小屋の老人と娘、そして登山家の三人は、二人を温かく迎え入れる。野尻は徐々に心を開き始めるが、江島は本田に道案内を強要し、雪の渓谷をさらに進んでいくのだった。

【クレジット】
監督 谷口千吉
製作 田中友幸
脚本 黒澤明 Akira Kurosawa
谷口千吉
撮影 瀬川順一
美術 川島泰三
編集 長沢嘉樹
音響効果 三縄一郎
音楽 伊福部昭
特殊技術 東宝技術部
出演 志村喬 野尻
三船敏郎 Toshiro Mifune 江島
若山セツコ 春坊
河野秋武 本田
小杉義男 高杉
高堂国典 スキー小屋の爺
深見泰三 署長
坂内栄三郎 刑事
浅田健三 新聞記者
石島房太郎 鹿の湯の主人
登山晴子 鹿の湯の女中
岡村千鶴子 鹿の湯の女中
笠井利夫 学生B
石田鈺 学生A